

県庁舎跡地活用検討懇話会（少人数グループ別意見交換）

平成25年2月19日（火）

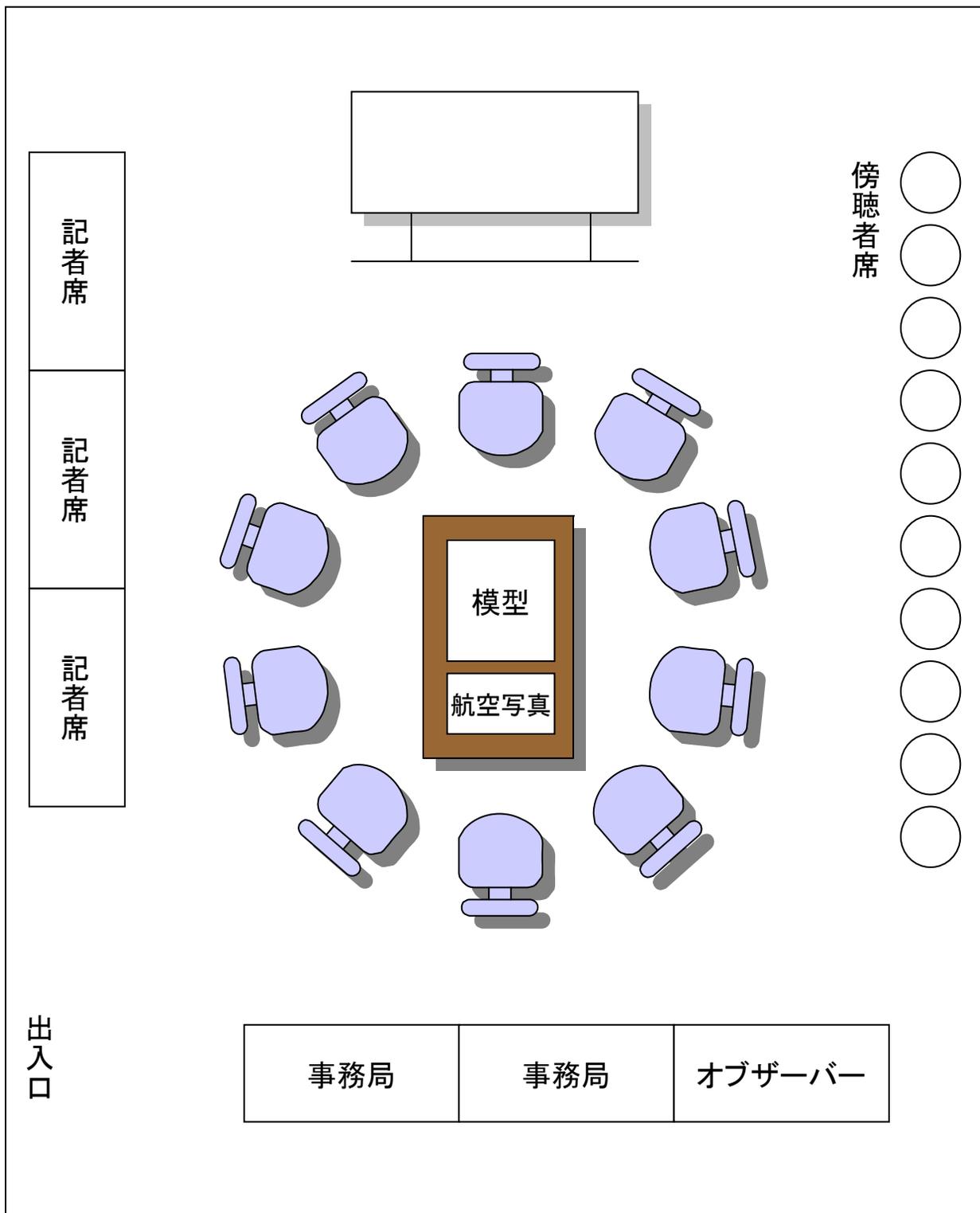
15時～17時

出席者

氏 名	職 名 等
1 犬 塚 純 一	公募委員
2 菊 森 淳 文	(財)ながさき地域政策研究所常務理事
3 菅 原 千 二 郎	公募委員
4 馬 場 宣 房	長崎新聞社取締役編集局長 兼 論説委員長
5 福 田 修 志	公募委員
6 本 馬 貞 夫	長崎学アドバイザー
7 村 木 昭 一 郎	野母商船(株)代表取締役社長

(50音順、敬称略)

県庁舎跡地活用検討懇話会 (グループ別意見交換)配席図



長崎県県庁舎跡地活用検討懇話会（少人数グループ別意見交換）

平成 25 年 2 月 19 日（火）
15 時～17 時

配布資料一覧

- ・ 活用案を評価する際の着眼点（事務局検討中案） 資料 1

- ・ 跡地活用検討懇話会における主な意見 資料 2

- ・ アンケート上位の用途・機能に係る事務局整理案 資料 3

- ・ アンケートにおける各委員の組み合わせ案【委員別に整理】 資料 4-1

- ・ アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】 ... 資料 4-2

- ・ 関連計画のその後の動きについて 資料 5
 - （1）県庁舎の基本設計について
 - （2）市庁舎等の建設場所について

- ・ 主要施設の概要一覧 資料 6

必要な用途・機能の検討

重要項目		(すべての項目において一定程度満足することが前提?)
1	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民共有の財産として誰もが利用できるものか ・ 特定の者に利益や不利益を及ぼすものでないか ・ 県が中心となって活用を図るに相応しいか
2	集客性・交流性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住者だけでなく来訪者を含めて、人が行き来し、集い、交流する場であるか(土日だけでなく平日も、観光客だけでなく市民も集まるか)
3	象徴性・発信性	<ul style="list-style-type: none"> ・ このまちの核・拠点として象徴的なものか(シンボル性があるか) ・ このまちの魅力を内外に発信するものか(アピール性があるか) ・ 今後長きにわたり、この場所に相応しいものか
4	歴史性	<ul style="list-style-type: none"> ・ この場所の持つ歴史性(岬の教会、長崎奉行所、出島との関係、海軍伝習所など様々な歴史が積み重ねられてきた)に配慮しているか
5	周辺にある機能(予定含む)との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺にある機能(予定含む)と重複しないか、棲み分けは可能か ・ 特にこの場所に求められる機能であるか ・ 周辺の類似機能との協調でより魅力を発揮できるか

目標項目		(満たしていれば+αの評価)
6	特有性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他県にはない長崎特有のものか
7	国際性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長崎の国際性を踏まえたものか
8	波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内市内に対して何らかの二次的な効果をもたらすものか

実現可能性を検討

1	財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備費、運営費は非現実的な額ではないか
2	経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用対効果(来客数等)はどうか ・ 経済的に持続可能か
3	運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営体制は実現可能で、充実したものか ・ 持続可能な運営体制か

具体の配置・規模などを検討(検討の際に配慮すべき事項)

1	景観・環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺地域と景観的に調和するか ・ 環境にも配慮しているか
2	石垣の取扱	歴史ある石垣は残す方向で検討
3	第三別館の取扱	第三別館は保存・活用も視野に入れて検討
4	面積・地形	7m以上の高低差、広い土地でないことを認識
5	江戸町公園	江戸町公園の(跡地内での)機能確保を前提に、公園の一体的活用も検討可

跡地活用検討懇話会における主な意見

集客性・交流性

- 県庁があったときと同程度の人が集まる場所にすべき
（職員数約 3, 0 0 0 人（警察含む）、来庁者数約 1, 4 0 0 人／日）
- 観光客だけでなく、県民市民が集まる場所にすべき
- 自然に人が集まる仕掛けづくりが必要

象徴性・発信性

- まちを象徴する核のようなものが必要
- 長崎は情報発信力が弱いので、重視すべき

歴史性

- 歴史の中心であり続けた場所なので、歴史を感じられる機能が望ましい

永続性

- 今後 1 0 0 年のオーダーでこの場所に相応しいものにすべき

周辺機能との関係

- 市内の他の施設との棲み分けや連携が重要
- まち全体の土地利用の効率性を考え、その中でこの場所をどう活用するか（機能分担、トータルコーディネート）が重要

特有性

- どの街にもあるようなものでなく、長崎特有の唯一無二のものに

国際性

- 長崎は古くから諸外国の人々と交流し共生してきたまちなので、国際性という視点も重要

交通政策

- 都心の車利用に係る市の交通政策（都心部への車の乗り入れをできる限り排除する方針）も踏まえて検討すべき
- 交通が集中するような活用は、街の価値を下げる恐れがある

複合的な活用（ベストミックス）

- つくるものを 1 つに限定せず、複合的なものをつくる方向で考えるべき
- アンケートのメイン・サブにとらわれず、要素のベストミックスを考えるべき

広場としての活用

- 広場にして、将来に向けて良くなっていく余地を残す（作り込みすぎない）
- 広場には公共的な施設が付設されるべき

アンケート上位の用途・機能に係る事務局整理案【番号順】

【 1-1】	歴史系の資料館・博物館（※1-2と統合）	1
【 2-1】	長崎奉行所西役所（復元）	1
【 3-1】	県の観光・歴史文化の情報拠点（観光の出入口となる拠点）（※3-2と統合）	2
【 4-1】	伝統芸能資料館、くんち広場、出し物展示場（※7-2と統合）	3
【 4-2】	体験型観光集客施設	3
【 4-3】	世界遺産館	4
【 5-1】	ランドマークター・シンボルタワー	4
【 6-1】	展望機能（展望タワー、展望台、展望ロビー）	4
【 7-3】	イベントスペース	5
【 7-4】	公園・広場（歴史公園・史跡公園含む）（※7-1と統合）	5
【 8-1】	特産品・土産品店（アンテナショップ、道の駅含む）	6
【 8-3】	飲食店、カフェ、レストラン	6
【10-1】	バスセンター、バスターミナル	6
【10-2】	駐車場、地下駐車場	7
【11-1】	コンサートホール（音楽）	7
【11-4】	複合文化施設（音楽、演劇、美術、映像等）	7
【11-5】	多目的ホール（中小コンベンション機能含む）	8
【12-2】	県民交流センター	8
【13-5】	国際的な機関	8
【14-1】	大学・学校	8

【1-1】歴史系の資料館・博物館（※1-2と統合）

○龍馬をはじめ、跡地の歴史や長崎を往来した人物、海外から入ってきた文化や技術の伝播などを体験しながら学べる施設を整備し、文献資料を集約して歴史研究の拠点とする。

代表事例） ・ 鹿児島市維新ふるさと館（1-1）、江戸東京博物館（1-2）

利 点） ・ この場所の持つ歴史性を活かせる

課 題 点） ・ 長崎歴史文化博物館とのすみ分け

【2-1】長崎奉行所西役所（復元）

○出島復元との関係性を重視する。

○岬の教会との併設も視野に入れる。

○周囲は歴史を感じられる公園とし、石垣を復元整備する。

○中身又は併設として、歴史資料やおくんち資料などの展示のある資料館又は博物館、あるいは、長崎学の研究拠点や情報発信の拠点とする。

○展望施設を設け、江戸時代の海に囲まれた出島をCGで再現等を検討

代表事例） ・ 箱館奉行所

利 点） ・ この場所の持つ歴史性を活かせる

・ 「出島」と一体となった活用により集客数が見込める

課 題 点） ・ 長崎奉行所立山役所とのすみ分け

・ 絵図面からの復元にしかない、海軍伝習所、医学伝習所は資料不足

【3-1】県の観光・歴史文化の情報拠点（観光の出入口となる拠点） （※3-2と統合）

- 国内外の観光客がワンストップで離島を含む県内の歴史・文化・観光情報が得られる、観光のスタート地点となる施設。
- 外国語に対応し、さるくガイドとの連携も含めた周遊観光ルートの案内が可能な観光インフォメーション機能を持ち、県内観光のPR 展示機能を備え、パンフレットの入手やパソコン検索による情報収集も可能。
- ソーシャルネットワーク等を活用し、世界へ長崎の魅力を発信。
- 大型駐車場を備え、観光バスや自家用車で立ち寄ることができる。

代表事例） ・ 浅草文化観光センター

利 点） ・ 県内全域の観光や魅力を紹介・発信する施設がない。新幹線開業なども見据え観光客等の目を県内全域にも向け、再度訪問するきっかけをつくる取組みも必要で、その拠点となる可能性がある。

- ・ 中心市街地にも近く、都市の中心となる場所であること、この場所自体
- ・ この場所の持つ歴史性を活かせる
- ・ 地域の新たな魅力や価値の発見につながり、観光の魅力アップにつながる

課 題 点） ・ 観光客の入口である駅やバスターミナルから、情報収集のためにわざわざ移動するか

- ・ 出発点となるには、集合のための交通機能が必要
- ・ 出発点となるには、大型バスも含めた駐車場が周辺に必要
- ・ 観光案内機能の単独では、集客数は多くを見込めない
- ・ 平日の対策が必要（県民市民向け）
- ・ 長崎駅の総合観光案内所機能との重複、棲み分け
- ・ 歴史文化博物館は、まずここで長崎の歴史の知識を得て、県内全域に行ってもらうための施設と位置づけられていたが、これとの棲み分け

【4－1】伝統芸能資料館、くんち広場、出し物展示場

(※7－2と統合)

- 長崎県内の伝統芸能を一堂に集め、山車や衣装、小道具等を展示、紹介し、来館者も伝統芸能の体験ができる資料館。
- 常時くんち及び県内の伝統芸能を披露する施設。(屋根付きか、屋外踊り場かは要検討)
- くんち期間中は、お旅所の設置も可能な「くんち広場」として活用。
- 他のイベントスペースや、公園、駐車場としても利用可能。

代表事例) ・立佞武多の館

利 点) ・各地域の伝統芸能や伝統工芸を知ってもらうことで、土産物消費増や観光客増に寄与

- ・「長崎くんち」という特色を活かせる
- ・本物のくんちの演し物がくんち期間外でも見れるのであれば賑わいの創出に寄与

課 題 点) ・伝統芸能・伝統工芸の展示機能の単独では、集客数は多くを見込めない

- ・特に平日閑散とする恐れ有り
- ・県が整備する場合、県内全域を対象とする必要がある
- ・既存の資料館等とのすみ分けの整理
- ・類似事例を見る限り、本物(退役含む)の展示が必要
- ・グラバー園内の伝統芸能資料館とのすみ分け、整理

【4－2】体験型観光集客施設

- 復元施設の中を貸し衣装で巡る or
- キッズシアターなど体験的要素をもった施設 or
- カジノ施設など娯楽的要素を持った施設

代表事例) ・いつきのみや歴史体験館

利 点) ・キッズシアターのような施設であれば一定の集客が見込める

課 題 点) ・カジノは法的規制をクリアする必要がある

- ・キッズシアターは特定の民間事業となる(又はライセンス上の問題もある)

【4－3】世界遺産館

○教会などキリスト教関連遺産や近代化遺産をアピールする施設として第三別館や複合施設の一構成要素として整備する。

代表事例) ・石見銀山世界遺産センター

利 点) ・サブ機能としては一定の集客が見込める

課 題 点) ・構成資産との距離

【5－1】ランドマークタワー・シンボルタワー

○出島をはじめ長崎のまちが一望でき、どこからでも見える、長崎のシンボルとなるものとして整備。

代表事例) ・東山スカイタワー

利 点) ・市中心部からの景色・夜景が楽しめる

課 題 点) ・周囲の景観への配慮が必要

【6－1】展望機能（展望タワー、展望台、展望ロビー）

○建物最上階などで出島や女神大橋などの長崎市内を360度パノラマで見渡せる展望施設。

○レストランや物産館なども高層階に設置。

代表事例) ・夢みなとタワー、神戸市役所展望ロビー

利 点) ・長崎を展望するには、稲佐山等にまで行く必要があるが、身近な景色や夜景を楽しめる

課 題 点) ・周囲の景観への配慮が必要（出島との調和）

【7-3】 イベントスペース

- 屋外又は屋内のイベントスペース（イベント広場）を整備する
- 使用目的としては、くち、観光イベント、ミニコンサート、国内、海外との交流行事など

代表事例) ・ 広島市西新天地公共広場（アリスガーデン）

- 利 点) ・ イベントの内容次第では集客数が見込める
・ 今後の柔軟な対応や拡張性が見込める

- 課 題 点) ・ イベントがない時に閑散とするおそれ
・ 屋外の場合、周辺住宅・店舗等への騒音

【7-4】 公園・広場（歴史公園・史跡公園含む）（※7-1と統合）

- 長崎港や出島を一望でき、まちの中心部での県民の憩いの場となる、芝生や木々の緑の公園。
- 石垣や遺構が見える形で残すなど、長崎奉行所や海軍伝習所などがあった江戸期の歴史を説明展示し、出島とも連携した、歴史を感じられる公園。
- イベントスペースとしても利用可能。
- 防災広場・緊急避難場所としても利用。

代表事例) ・ 白川公園、甲府市歴史公園

- 利 点) ・ この場所の持つ歴史性を活かせる
・ まちの中心部に緑が少ないので憩いのスポットになる
・ 急坂の休憩地点として高齢者に利用いただける
・ 災害時の避難場所として利用できる

- 課 題 点) ・ 類似事例を見る限り歴史公園単独では、集客数は多くは見込めない
・ 具体の施設が残っていない
・ 都市公園（近隣利用）の場合は敷地面積2ha以上が標準。それでも面積的に不足。特殊公園（歴史公園、風致公園など）として整理できるかどうか。（江戸町公園又はその代替も含めた整理）

【8-1】特産品・土産品店（アンテナショップ、道の駅含む）

- 外観等を江戸時代の歴史的街並みに統一した、県内各地の名品、特産品の物販・飲食施設。
- 観光客が土産物を買う場所として、また、アンテナショップとして、県産品をアピールするとともにマーケティングにも活用。
- 観光地の情報発信機能も併設。

代表事例) ・門司港レトロ観光物産館「港ハウス」

- 利 点) ・長崎には土産物を買える場所が少ないとの意見も多く、まちなかでの拠点となりうる
- ・地元市民も県内他地域の特産品を求めることができるので平日も一定の集客が見込まれる

課 題 点) ・民間との競合

【8-3】飲食店、カフェ、レストラン

- サブ機能としてのカフェ、レストラン
- 話題となるレストランの誘致も検討
- 食事体験ゾーンとして長崎の食文化を発信する施設も検討

代表事例) ・ビストロサンチーム（松本市美術館）

- 利 点) ・メイン施設の認知向上への寄与
- ・急坂の休憩地点として高齢者に利用いただける

課 題 点) ・話題づくりが必要

- ・地元飲食店等との競合

【10-1】バスセンター、バスターミナル

代表事例) 長崎県営バス長崎ターミナル

- 利 点) ・日常的に乗降が発生し、その一部は周辺に流れることも考えられ、賑わい創出には寄与する可能性がある
- ・まちの中心部で大きな通りに面した広い駐車場は殆どないため、マイカー利用者の行動起点となり周辺商店街等の売上増に寄与

課 題 点) ・民間売却等が前提か。

- ・渋滞対策

【10-2】 駐車場、地下駐車場

代表事例) ・長崎市営平和公園駐車場

利 点) ・大型バスの駐車場は不足しており、特に出島や中心商店街等との関係で寄与するものとなる
・まちの中心部で大きな通りに面した広い駐車場は殆どないため、マイカー利用者の行動起点となり周辺商店街等の売上増に寄与

課 題 点) ・整備費用が高い
・民間との競合

【11-1】 コンサートホール（音楽）

○音楽専用のホールを整備

○規模的には小規模又は中規模程度。

代表事例) ・三原市芸術文化センター ポポロ

利 点) ・音楽専用ホールが必要との要請に応えられる

課 題 点) ・市内の他のホール等との棲み分けが必要

【11-4】 複合文化施設（音楽、演劇、美術、映像等）

○他の施設と演劇、ライブ、コンサート、練習室などを備えたホールを組合わせた新しいタイプの文化施設を整備

（他の施設例：図書館、ターミナル、世界遺産館、伝統芸能資料館、アンテナショップ）

代表事例) ・宮崎市民プラザ

利 点) ・組み合わせにより多様な利用者を見込める
・複合化により開催日が分散し平日の利用も見込める

課 題 点) ・市内の他のホール等とのすみ分け
・イベントがない時に閑散とするおそれ

【11-5】多目的ホール（中小コンベンション機能含む）

- 500人規模の大会議室と200人規模の複数の会議室など比較的小規模の施設を組み合わせた多目的ホールを整備。
- 他の文化施設との併設も検討。

- 代表事例) ・福井県国際交流会館
- 利点) ・ホール機能の不足に 대응することができる
- 課題点) ・イベントがない時に閑散とするおそれ

【12-2】県民交流センター

- 離島も含め、県民、市民が日常的に使用可能な集会所、会議室を整備。
- ボランティア活動や県民・市民の活動を支援する機能を持つ。

- 代表事例) ・御殿場市民交流センター ふじざくら
- 利点) ・幅広い県民・市民の利用が見込まれる
- 課題点) ・市内の他施設とのすみ分けが必要

【13-5】国際的な機関

- 国際的な研究機関、国際機関、世界的機関（例：ユネスコ）

- 代表事例) 国連ハビタット福岡本部
- 利点) ・コンベンションの誘致等の可能性も生じる
- 課題点) ・現在募集している国際機関はない。（外務省）
 - ・誘致が困難

【14-1】大学・学校

- 大学や研究機関など産官学連携施設 or
- サテライトキャンパス or
- ベンチャー企業の育成機関

- 代表事例) ・新潟大学 新潟駅南キャンパス「ときめいと」
- 利点) ・一定の賑わいが生じる
 - ・伝習所があった場所としてマッチする
- 課題点) ・県内他施設とのすみ分け

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案 【委員別に整理】

メイン機能 サブ機能

A委員	出島を中心とした他県にない史跡・文化・祭りで「街の活性化」を図るとともに長崎県全体の交流・観光のハブとなるようバスセンター、地下駐車場を整備、防災広場としても利用する。	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	観光の出入口となる拠点（まずここに来てそこから回遊）	
		歴史系の資料館・博物館			
		駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル		
		防災センター、防災広場・緊急避難所	くunch広場、出し物展示場	行政窓口	
B委員	A:観光歴史文化の情報拠点には広い駐車場で人々を呼び込む。	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場		
	B:長崎奉行所西役所をメインとして、岬の教会の復元と歴史系の資料館、博物館等の建立。	長崎奉行所西役所（復元）	歴史系の資料館・博物館	岬の教会（復元）	
	C:公園、広場を中心にして世界遺産館ほか歴史館等と広大な駐車場。	公園・広場	世界遺産館	駐車場、地下駐車場	
	-	防災センター、防災広場・緊急避難所			
C委員	[基本]ながさき交流の歩み 歴史から未来へ（100年後の将来像も） ①近代までの人物往来 ②モノ、事始めの伝播 ③ながさきの将来像、姿 [空間]展望と広場 ①ながさきの歴史文化を一望するシンボルタワー ②広場（交流屋内外）の基本構成 [流動]「歩く」（さるく、バリアフリーを含め） ①施設内・外 ②出島との動線（一体化） ③江戸町、築町の歴史・文化のまちなみづくり（来訪者と地元） [県警本部]・駐車場（新幹線駅との中継）・世界遺産館等の集客施設との複合・跡地との動線（地下、地	長崎県の代表的な歴史人物の群像	埋蔵文化財展示施設	長崎奉行所西役所（復元）	岬の教会（復元）
		県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点（まずここに来てそこから回遊）	離島の魅力を伝える施設	コトハジメ館
		ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能（展望タワー、展望台、展望ロビー）		
D委員	“総合観光情報拠点・世界遺産館・多目的ホール（中小コンベンション・研修等に使えるもの）を基礎として、賑わいを形成するための、交通・駐車場機能、物販・カフェレストラン機能を付加する。コンセプトは、過去から未来につながる交流の長崎県の形成。ワンストップで観光情報を得られるセンター。”	県の観光・歴史文化の情報拠点	展望機能（展望タワー、展望台、展望ロビー）	駐車場、地下駐車場	
		世界遺産館	くunch広場、出し物展示場	駐車場、地下駐車場	特産品・土産品店（アンテナショップ、道の駅含む）
		多目的ホール（中小コンベンション機能含む）	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	飲食店、カフェ、レストラン

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案 【委員別に整理】

メイン機能 サブ機能

E委員	全体は大学のキャンパスのイメージ。緑の多い空間に、観光・物産機能を有する複合型バスターミナル(路線、観光、市内周回バス)、音楽・演劇の小ホール、リハ室、練習室を備えたシアターコンプレックス、長崎の伝統芸能を展示・実演できる伝統芸能資料館を配置する。アクセスはバスをメインとする公共交通を最優先とする。建物のデザインは、周辺の石垣、第三別館、出島との一体性を確保するよう配慮する。	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	コンサートホール(音楽)	劇場(演劇)	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)			
		バスセンター、バスターミナル	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)			
		伝統芸能資料館、伝統工芸館	くunch広場、出し物展示場					
F委員	歴史文化の研究・情報発信拠点として恒常的な利用者が見込まれる施設(県立図書館を含む)を核に、県民の文化芸術活動を支援する交流施設、国際的な研究機関を併設した施設をメインにする。1階部分は、観光のゲートウェイとしての機能を持ち、様々な交通との結節機能も確保する。また、産官学の連携による創造的な活動を支援するインキュベーション的施設(できれば、中央政府なども巻き込んだフューチャーセンター的な施設)と、その情報発信やマーケティングなどのアンテナ的な機能を持つ物販・飲食施設を併置する。歴史性と都市核としての重要	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	県民交流センター	国際的な機関				
		インキュベーション(起業支援)施設	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)					
		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	バスセンター、バスターミナル					
G委員	”①造り込みすぎないようにすること(将来の変化・ニーズに対応するため、余地を緑地として残しておく) ②1-2、2-6は当然3-1に含まれる ③市公会堂がどうなるかで、ホール機能の状況は変わってくる ④4-1はくunchに特化し、傘鋒・シャギリも含めた体験施設を併設する ⑤運営主体の自由度を確保すること ⑥「観光」に分類されているが、実際は市民・県民交流機能を持つ。分類項目に注意すべき”	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史をパーソナル復元(西役所等)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)			
		バスセンター、バスターミナル	駐車場、地下駐車場					
		伝統芸能資料館、伝統工芸館	くunch広場、出し物展示場	体験型観光集客施設				
H委員	考え方:人が日中利用できる、したくなる集積であること。現在ある施設・コンテンツと重複しないこと(歴史文化博物館、ブリックホール、県立美術館、宿泊施設)。新たな名所化(展望機能)。建物の規模にもよるが、古くなった学校の移転や専門学校(料理教室レベルでも可)などの誘致なども併設。交通の要(路電、バス、車からの徒歩)としての整備不可欠。メリハリの効いた集積(多種コンテンツではなく絞り込み)。歴史復元も程度あり。できれば歴史を活かしたい。導線確保が優先。	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	くunch広場、出し物展示場	飲食店、カフェ、レストラン		
		駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	バスセンター、バスターミナル	大学・学校		
I委員	-	長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	くunch広場、出し物展示場	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	
		ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場				
J委員	バスセンターターミナル施設の中に駐車場等他の施設を併設する。	県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案 【委員別に整理】

メイン機能 サブ機能

K委員	“劇場とくち出し物展示場が一体となった文化施設。 県民が自主活動可能な練習場もあり、創造空間になるのがのぞましいです。 展望機能や地下駐車場も整備し、県立図書館を含んでも良いと思います。 (劇場は客席数1200人程度の中ホールと200人程度の小ホールを備える)”	くち広場、出し物展示場	劇場(演劇)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)			
L委員	出島復元と一体化した整備が望ましい。高層ビルや中心市街地の混雑を呼び込むようなバスセンターの設置は望ましくない。当面は景観を大切にしながら将来の再開発の余地を残す。	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	石垣復元	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	飲食店、カフェ、レストラン	
M委員	歴史を含め、観光情報等を発信できる観光拠点施設を計画。その施設の中には展望スペースや駐車施設を備える。また石積等を残したり、県庁跡地であることや歴史ある場所であることがわかるような公園とし、観光スポットとする。	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	県民交流センター		

ご意見 ※各用途・機能は並列の扱い

N委員	くち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	伝統芸能資料館、伝統工芸館	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	体験型観光集客施設	歴史系の資料館・博物館
O委員	くち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	公園・広場	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	歴史公園、史跡公園
P委員	くち広場、出し物展示場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	コンサートホール(音楽)	体験型観光集客施設	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史をパーチャル復元(西役所等)	オペラハウス
Q委員	くち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	伝統芸能資料館、伝統工芸館	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	ホテル、高級ホテル	コトハジメ館
R委員	くち広場、出し物展示場	駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	伝統芸能資料館、伝統工芸館	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	国際的な機関	大学・学校	美術と文化の発信拠点	地下道
S委員	くち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	公園・広場	朝市、夜市	歴史公園、史跡公園	県民交流センター
T委員	公園・広場	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	飲食店、カフェ、レストラン	図書館	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	公文書館、県政資料館	石垣復元	第三別館復元	世界遺産館	
U委員	くち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	伝統芸能資料館、伝統工芸館	公園・広場	コンサートホール(音楽)	飲食店、カフェ、レストラン	美術と文化の発信拠点	
V委員	くち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	公園・広場	歴史公園、史跡公園	コンサートホール(音楽)	
W委員	くち広場、出し物展示場	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	朝市、夜市	国際的な機関			
X委員	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	伝統芸能資料館、伝統工芸館	大学・学校	高齢者・子供関係施設	企業誘致・オフィス					
Y委員	県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場	図書館	長崎県の代表的な歴史人物の群像	長崎奉行所西役所(復元)					

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 A委員	県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	駐車場、地下駐車場・・・(6) 観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊・・・)(3) 展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)・・・(3) 歴史公園、史跡公園・・・(3) バスセンター、バスターミナル・・・(2) イベントスペース・・・(2) 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)・・・(2)			
2 B委員		駐車場、地下駐車場					
3 C委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	離島の魅力を伝える施設	コトハジメ館			
4 D委員		駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)				
5 G委員		展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	歴史をバーチャル復元(西役所等)			
6 J委員		駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)
7 M委員		歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	県民交流センター	
8 H委員		駐車場、地下駐車場	歴史公園、史跡公園	バスセンター、バスターミナル	大学・学校		
9 I委員		長崎奉行所西役所(復元)	駐車場、地下駐車場	歴史公園、史跡公園	イベントスペース	くunchi広場、出し物展示場	

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 E委員	バスセンター、バスターミナル	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)		
2 G委員		駐車場、地下駐車場				
3 J委員		駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	行政窓口	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)
4 A委員	バスセンター、バスターミナル	駐車場、地下駐車場	駐車場、地下駐車場・・・(4) 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(2) 観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)・・・(2) イベントスペース・・・(2) 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)・・・(2)			
5 F委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)				
6 H委員		駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	大学・学校	

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能									
1 A委員	駐車場、地下駐車場	バスセンター、バスターミナル									
2 H委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	バスセンター、バスターミナル	大学・学校						
3 J委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)				
4 B委員	駐車場、地下駐車場	公園・広場	世界遺産館	県の観光・歴史文化の情報拠点…(5) イベントスペース…(4) 歴史公園、史跡公園…(4) バスセンター、バスターミナル…(4) 展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)…(4) くち広場、出し物展示場…(3) 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)…(3) 飲食店、カフェ、レストラン…(2) 多目的ホール(中小コンベンション機能含む)…(2) 世界遺産館…(2)							
5 D委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)								
6 D委員		世界遺産館	くち広場、出し物展示場					特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)			
7 D委員		多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	イベントスペース					飲食店、カフェ、レストラン	人材育成施設		
8 G委員		バスセンター、バスターミナル									
9 I委員		長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点					歴史公園、史跡公園	くち広場、出し物展示場	イベントスペース	
10 I委員		ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)								
11 K委員		くち広場、出し物展示場	劇場(演劇)					展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)		
12 L委員		歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園					石垣復元	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	飲食店、カフェ、レストラン
13 M委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園					観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	県民交流センター	

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 B委員	長崎奉行所西役所(復元)	歴史系の資料館・博物館	岬の教会(復元)				
2 I委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	くち広場、出し物展示場	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	
3 C委員	長崎奉行所西役所(復元)	埋蔵文化財展示施設	長崎県の代表的な歴史人物の群像	岬の教会(復元)	岬の教会(復元)…(2)		

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 A委員	防災センター、防災広場・緊急避難所	- くんち広場、出し物展示場	行政窓口		
2 B委員					

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 F委員	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	- バスセンター、バスターミナル				
2 H委員		ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	くんち広場、出し物展示場	飲食店、カフェ、レストラン	
3 A委員	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	- 県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点			
4 C委員		- 県の観光・歴史文化の情報拠点	離島の魅力を伝える施設	コトハジメ館	県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(3) 展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)・・・(2) バスセンター、バスターミナル)・・・(2)	
5 E委員		- バスセンター、バスターミナル	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)		
6 M委員		- 県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	県民交流センター

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 C委員	ランドマークタワー、シンボルタワー	- 展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)			
2 I委員		- 駐車場、地下駐車場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)・・・(2)		
3 H委員	ランドマークタワー、シンボルタワー	- 観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	くんち広場、出し物展示場	飲食店、カフェ、レストラン

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 F委員	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	- 県民交流センター	国際的な機関		
2 L委員		- 歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	石垣復元	イベントスペース
3 A委員	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	- 県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)		

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 G委員	くunch広場、出し物展示場	伝統芸能資料館、伝統工芸館	体験型観光集客施設	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)・・・(2) 駐車場、地下駐車場・・・(2)	
2 K委員		劇場(演劇)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)
3 D委員	くunch広場、出し物展示場	世界遺産館	駐車場、地下駐車場	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	
4 H委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	飲食店、カフェ、レストラン

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 E委員	伝統芸能資料館、伝統工芸館	くunch広場、出し物展示場	くunch広場、出し物展示場)・・・(2)		
2 G委員		くunch広場、出し物展示場	体験型観光集客施設		

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 D委員	世界遺産館	駐車場、地下駐車場	くunch広場、出し物展示場	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	駐車場、地下駐車場・・・(2)
2 B委員	世界遺産館	公園・広場	駐車場、地下駐車場		

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 D委員	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	飲食店、カフェ、レストラン	人材育成施設		
2 J委員	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)
		駐車場、地下駐車場・・・(2) イベントスペース・・・(2)					

提案委員	区分	この区分に関連する機能	
1 A委員	歴史系の資料館・博物館		
2 B委員	歴史系の資料館・博物館	長崎奉行所西役所(復元)	岬の教会(復元)

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能	
1 F委員	インキュベーション(起業支援)施設	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	

提案委員	区分	この区分に関連する機能	
1 K委員	劇場(演劇)	くんち広場、出し物展示場	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー) 駐車場、地下駐車場 青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)
2 E委員	劇場(演劇)	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	コンサートホール(音楽) 青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)

青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能	
1 J委員	行政窓口	県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル 駐車場、地下駐車場 イベントスペース 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む) 多目的ホール(中小コンベンション機能含む)
2 A委員	行政窓口	防災センター、防災広場・緊急避難所	くんち広場、出し物展示場

提案委員	区分	この区分に関連する機能	
1 B委員	公園・広場	駐車場、地下駐車場	世界遺産館

提案委員	区分	この区分に関連する機能	
1 C委員	長崎県の代表的な歴史人物の群像	長崎奉行所西役所(復元)	埋蔵文化財展示施設 岬の教会(復元)

提案委員	区分	この区分に関連する機能	
1 M委員	歴史公園、史跡公園	県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊) 展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー) 駐車場、地下駐車場 県民交流センター
2 H委員		駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点 バスセンター、バスターミナル 大学・学校
3 I委員	歴史公園、史跡公園	長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点 くんち広場、出し物展示場 イベントスペース 駐車場、地下駐車場
4 L委員		歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	駐車場、地下駐車場 石垣復元 イベントスペース 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む) 飲食店、カフェ、レストラン

駐車場、地下駐車場・・・(4)
 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(3)
 イベントスペース・・・(2)

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1 E委員	複合文化施設 (音楽、演劇、美術、映像等)	コンサートホール (音楽)	劇場(演劇)	青少年センター (青少年の学習 機会・自主活動 の場を提供)	

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 C委員	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	ランドマークタワー、シンボルタワー			駐車場、地下駐車場・・・(4) 観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊・・・(2) 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(3) ランドマークタワー、シンボルタワー・・・(3) くんち広場、出し物展示場)・・・(2)	
2 D委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	駐車場、地下駐車場			
3 G委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史をバーチャル復元(西役所等)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)		
4 H委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	ランドマークタワー、シンボルタワー	くんち広場、出し物展示場		飲食店、カフェ、レストラン
5 I委員		ランドマークタワー、シンボルタワー	駐車場、地下駐車場			
6 K委員		くんち広場、出し物展示場	劇場(演劇)	駐車場、地下駐車場		青少年センター (青少年の学習機会・自主活動の場を提供)
7 M委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)		駐車場、地下駐車場

提案委員	区分	この区分に関連する機能						
1 D委員	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	世界遺産館	くんち広場、出し物展示場	駐車場、地下駐車場	駐車場、地下駐車場・・・(3) イベントスペース・・・(3) 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(2) バスセンター、バスターミナル・・・(2)			
2 E委員		バスセンター、バスターミナル	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	イベントスペース				
3 F委員		インキュベーション(起業支援)施設						
4 G委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史をバーチャル復元(西役所等)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)				
5 J委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口		駐車場、地下駐車場	イベントスペース	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)
6 L委員		歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場		石垣復元	イベントスペース	飲食店、カフェ、レストラン

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能					
1 D委員	イベントスペース	多目的ホール (中小コンベンション機能含む)	駐車場、地下駐車場	飲食店、カフェ、レストラン	人材育成施設		
2 E委員		バスセンター、バスターミナル	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)			
3 I委員		長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	くんち広場、出し物展示場	駐車場、地下駐車場	
4 J委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	バスセンター、バスターミナル	行政窓口	駐車場、地下駐車場	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)
5 L委員		歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	石垣復元	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	飲食店、カフェ、レストラン

駐車場、地下駐車場・・・(4)
 特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)・・・(3)
 県の観光・歴史文化の情報拠点・・・(2)
 多目的ホール(中小コンベンション機能含む)・・・(2)
 バスセンター、バスターミナル・・・(2)
 飲食店、カフェ、レストラン・・・(2)
 歴史公園、史跡公園・・・(2)

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 A委員	くんち広場、出し物展示場	防災センター、防災広場・緊急避難所	行政窓口			
2 E委員		伝統芸能資料館、伝統工芸館				
3 I委員		長崎奉行所西役所(復元)	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	イベントスペース	駐車場、地下駐車場

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 D委員	飲食店、カフェ、レストラン	多目的ホール (中小コンベンション機能含む)	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	人材育成施設	駐車場、地下駐車場・・・(2) イベントスペース・・・(2)
2 H委員		観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	ランドマークタワー、シンボルタワー	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	くんち広場、出し物展示場	
3 L委員		歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	石垣復元	イベントスペース

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1 F委員	県民交流センター	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	国際的な機関			
2 M委員		県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	駐車場、地下駐車場

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1	B委員	岬の教会(復元)	長崎奉行所西役所(復元)	歴史系の資料館・博物館
2	C委員		長崎県の代表的な歴史人物の群像	埋蔵文化財展示施設

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1	E委員	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	コンサートホール(音楽)	劇場(演劇)	劇場(演劇)・・・(2)
2	K委員		くんち広場、出し物展示場	劇場(演劇)	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1	H委員	大学・学校	駐車場、地下駐車場	県の観光・歴史文化の情報拠点	歴史公園、史跡公園	バスセンター、バスターミナル

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1	C委員	埋蔵文化財展示施設	長崎県の代表的な歴史人物の群像	長崎奉行所西役所(復元)	岬の教会(復元)

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1	C委員	離島の魅力を伝える施設	県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	コトハジメ館

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1	C委員	コトハジメ館	県の観光・歴史文化の情報拠点	観光の出入口となる拠点(まずここに来てそこから回遊)	離島の魅力を伝える施設

提案委員	区分	この区分に関連する機能				
1	D委員	人材育成施設	多目的ホール(中小コンベンション機能含む)	イベントスペース	駐車場、地下駐車場	飲食店、カフェ、レストラン

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1	F委員	国際的な機関	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	県民交流センター

◎アンケートにおける各委員の組み合わせ案【用途機能別に整理】

メイン機能

サブ機能

提案委員	区分	この区分に関連する機能						
1	L委員 石垣復元	-	歴史・文化の研究、情報収集・発信拠点	歴史公園、史跡公園	駐車場、地下駐車場	イベントスペース	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)	飲食店、カフェ、レストラン

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1	G委員 歴史をバーチャル復元(西役所等)	-	県の観光・歴史文化の情報拠点	展望機能(展望タワー、展望台、展望ロビー)	特産品・土産品店(アンテナショップ、道の駅含む)

提案委員	区分	この区分に関連する機能		
1	G委員 体験型観光集客施設	-	伝統芸能資料館、伝統工芸館	くんち広場、出し物展示場

提案委員	区分	この区分に関連する機能			
1	E委員 コンサートホール(音楽)	-	複合文化施設(音楽、演劇、美術、映像等)	劇場(演劇)	青少年センター(青少年の学習機会・自主活動の場を提供)

関連計画のその後の動きについて

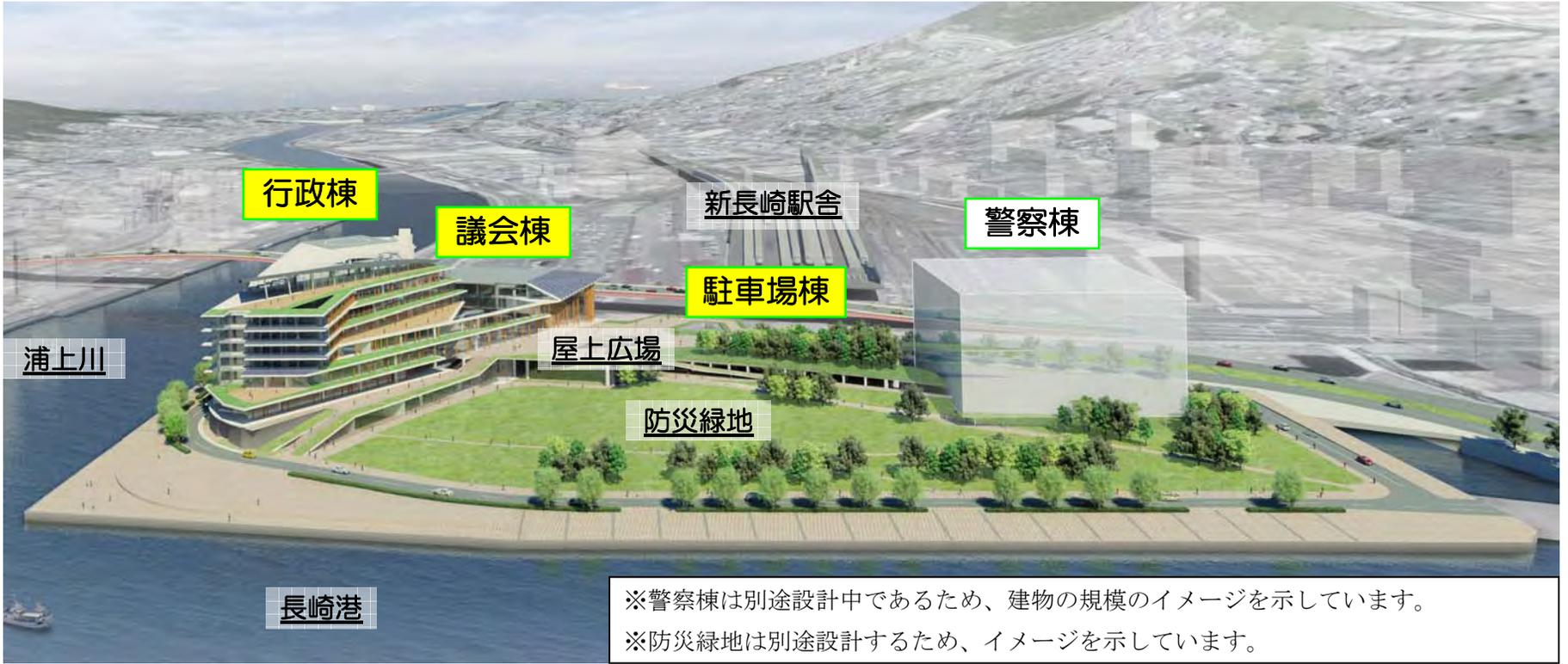
(1) 県庁舎の基本設計について

(2) 市庁舎等の建設場所について

県庁舎の基本設計について

完成イメージ図

① 長崎港側から見た敷地全体のイメージ図



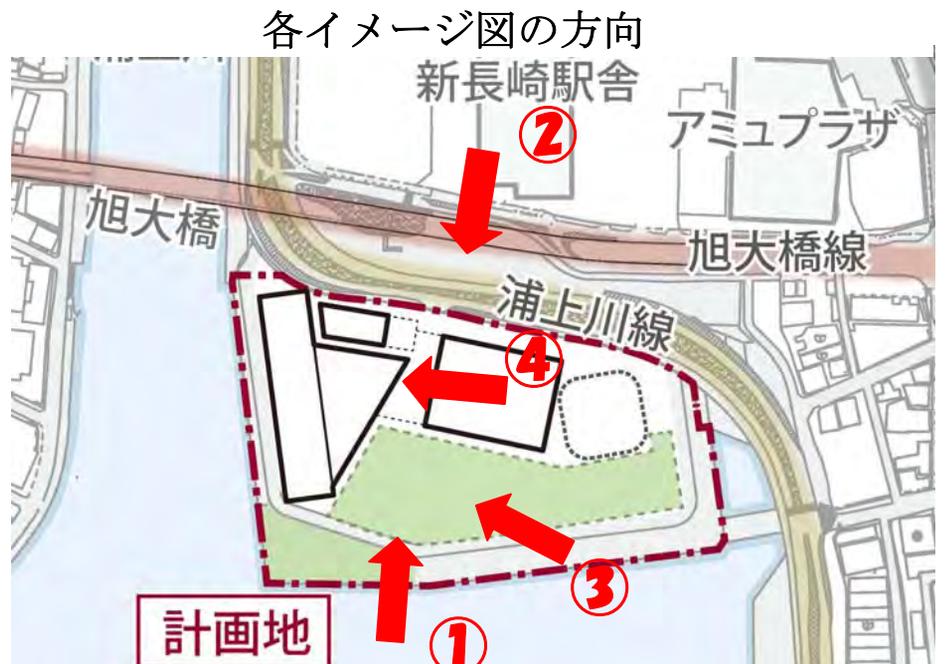
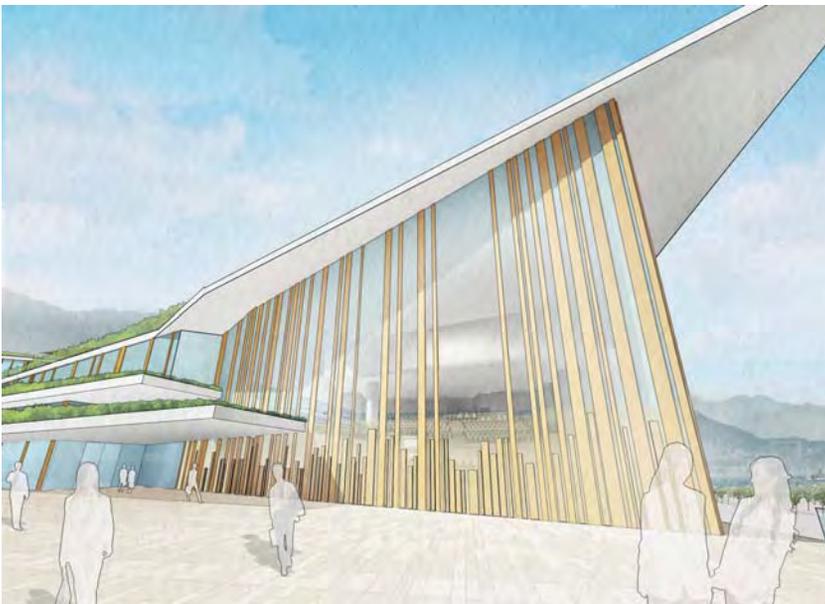
② 新長崎駅舎側から見た敷地全体のイメージ図



③ 防災緑地から見た行政棟のイメージ図



④ 屋上広場から見た議会棟のイメージ図



計画概要

建設予定地

所在地

長崎市尾上町（長崎魚市跡地）

敷地面積

約 30,000 m²
（防災緑地や臨港道路、
岸壁を含めると、約 58,000 m²）

スケジュール

区分	年度					
	23	24	25	26	27	28
行政棟・議会棟等の設計（本業務） （H24.3～H25.11）	●——● （約1年8箇月）					
警察棟の設計（別途業務） （H24.11～H25.11）	●——● （約1年）					
建設工事 （発注手続きを含む）	●——● （約2年6箇月）					

建物の規模

	行政棟	議会棟	駐車場棟	警察棟（参考）
建築面積	11,000 m ²	2,100 m ²	5,600 m ²	別途業務
延床面積 （基本構想）	46,140 m ² （49,000 m ² ）	6,480 m ² （6,500 m ² ）	12,255 m ² （11,000 m ² ）	22,000 m ² （20,000 m ² ）
駐車台数	約 40 台	—	約 350 台 （来庁者用約 200 台）	約 60 台
規模	地上 8 階 地下階無	地上 5 階 地下階無	地上 3 階 地下階無	別途設計中
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	
高さ	44.15m	24.40m	9.00m	

防災拠点となる県庁舎

特に重要な防災拠点施設としての基本性能を確保し、県民生活の安全・安心を支える庁舎にします。

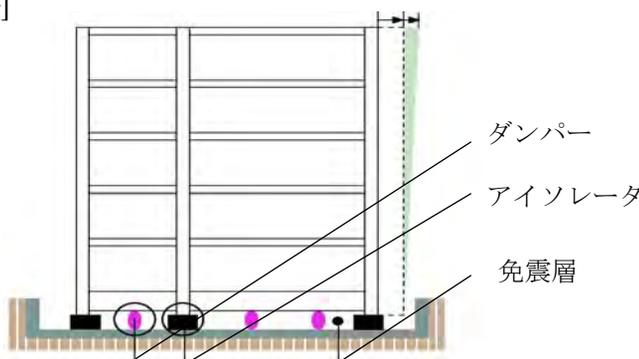
地震・液状化対策

- ・建物損傷を最小にする免震構造を採用
- ・構造的に優位な低層の建物とする
- ・安全性の高い液状化対策工法を実施

<免震構造のイメージ図>

[免震構造]

行政棟
議会棟



津波・高潮対策

- ・庁舎敷地の嵩上げ（建物1階の床の高さを標高4.8m程度とする）を実施
- ・2階以上に主要な機械室を配置

<岸壁と庁舎の床の高さのイメージ図>



県民が親しみを感じる県庁舎

県民の皆さんが気軽に利用でき、憩いや交流と協働の場となる、親しみやすい庁舎とします。

行政棟

エントランスホール、
県民情報センター（仮称）など（1階）

- ・ 情報発信や県民協働等のスペースを確保し、各種イベントにも活用
- ・ 閉庁日にも利用可能

<エントランスホールのイメージ図>



展望施設（8階）

- ・ 長崎の海と山の風景を楽しめるよう夜間も含め、開放
- ・ 閉庁日にも利用可能

会議室（3階ほか）

- ・ 閉庁日には、貸し会議室として利用可能

駐車場棟

- ・ 来庁者用の駐車スペースを約 200 台分確保
- ・ 屋上広場は常に利用可能

議会棟

本会議場（3階）

- ・ 身近に感じられるよう屋上広場と隣接した3階に配置

<本会議場のイメージ図>



機能的で環境に優しい県庁舎

時代の変化などに対応した柔軟性の高い庁舎とし、また、自然エネルギーの積極的利用などにより、環境性能に優れた庁舎にします。

自然エネルギーの活用

- ・ 太陽光発電パネル
- ・ 自然採光
- ・ 自然換気 など

省エネルギー技術の導入

- ・ LED照明
- ・ 昼光利用による照明制御
- ・ 高効率な空調熱源機器 など

2 各施設の機能・運営計画

■ 展示施設及び交流施設等の構成

ゾーン	階	施設	区分	面積	備考	
A 交流・協働ゾーン	1階	A-1. 総合案内	—	約 20 m ²		
	1階	A-2. エントランスホール	—	約 1,210 m ²		
	1階	A-3. (仮称)県民情報センター	①情報・展示スペース		約 380 m ²	合計約 930 m ²
			②ライブラリースペース		約 390 m ²	
			③県民センター・パスポートセンター		約 160 m ²	
	1階	A-4. (仮称)協働フォーラム(県民協働会議室)	—	約 180 m ²		
	2階	A-5-①. 食堂	—	約 590 m ²		
	1階	A-5-②. カフェ	—	約 20 m ²		
	2階	A-6. 金融機関等・売店	①金融機関等		約 400 m ²	合計約 550 m ²
			②売店		約 150 m ²	
1階・2階	A-7. 相談室	①1階相談室(4室)		1階 約 50 m ²	合計約 120 m ²	
		②2階相談室(4室+待合室)		2階 約 70 m ²		
B 展望ゾーン	8階	B-1. 展望施設	—	約 540 m ²	屋外テラス除く	
合計面積				約 4,160 m ²	1階合計 約 2,410 m ² 2階合計 約 1,210 m ² 8階合計 約 540 m ²	

A-2. エントランスホール①

明るく、開放的で快適な多目的利用のできる空間

現状・県民や職員等の意見

【現状】

- ・ 待合・休憩スペースが小さい
- ・ 面積が狭く、イベント等は開催できない

【県民や職員等の意見】

- ・ 色々な方が来やすくなるためには、色々な人に優しいスペースが必要(グルイン)
- ・ 多目的ホールとして各種イベントが開催できるような造りにしてほしい。屋外も使えたほうが利便性が高い(販売戦略課)
- ・ 大型映像装置は広報ツールとして有効だと思う。観光やイベント、県産品の紹介や庁舎見学に活用できる(広報課)
- ・ ソファやイスについては、可動式にしておき、作り込まないほうが運用しやすい。また、備品を収納するスペースが必要だと思う(文化振興課)
- ・ 県民ギャラリーやパネル展示、コンサートやパブリックビューイング等に活用できる(職員WS)

機能 (サービス内容)

- 来庁者が心地よく過ごことができる空間
- 県民交流や情報発信などの多目的利用が可能な空間

【活用イメージ】

- ・ 来庁者の待合・休憩の場
- ・ 式典や表彰式などの各種行事の開催の場
- ・ 物産イベントや県民交流イベントなどの各種イベントの開催の場
- ・ 災害時など非常時の一時的な避難場所

付加価値を高める工夫(例)

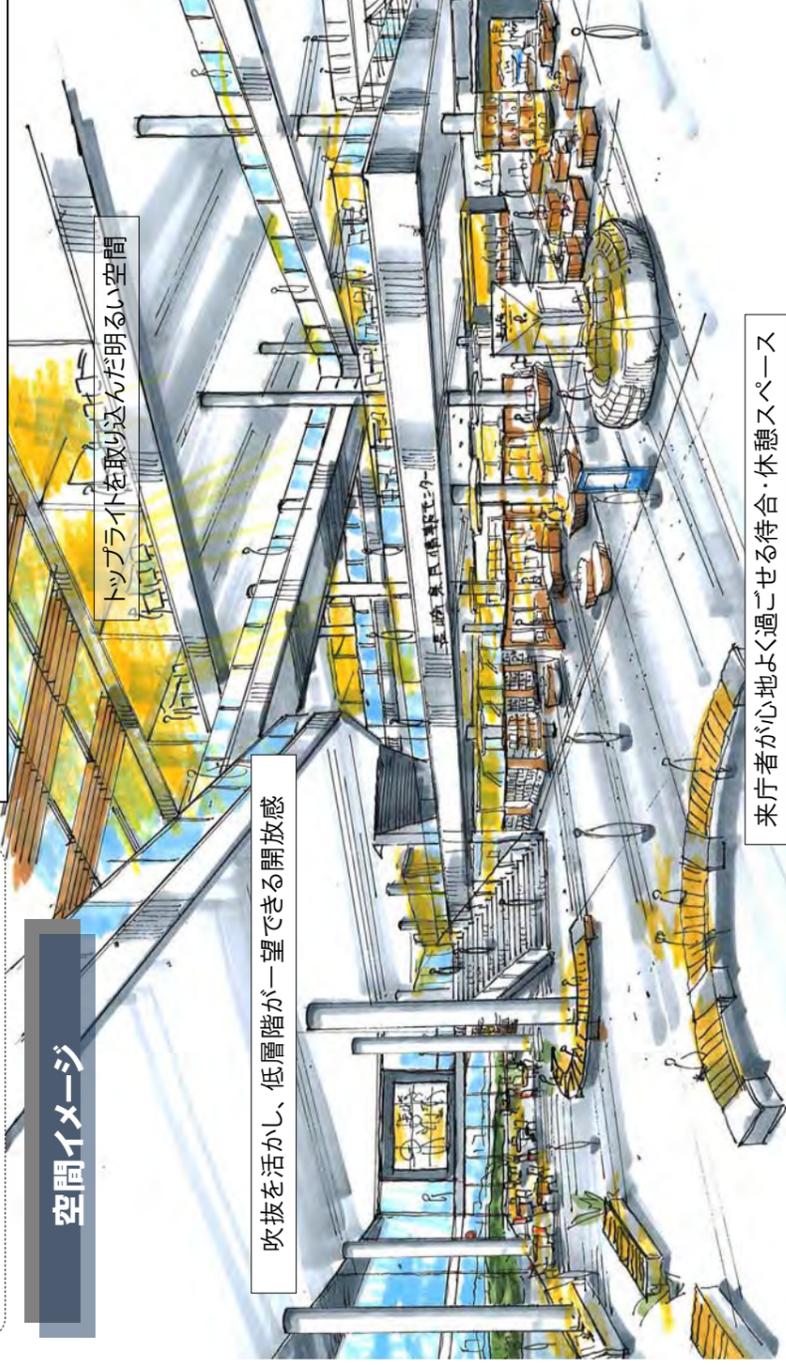
◀ハード面▶

- ・ 可動式のソファやベンチなど、休憩やくつろげる設備の設置
- ・ 長崎らしさを感じられ、来庁者の使い勝手や周辺施設との調和に配慮された空間デザイン
- ・ 県民情報センターや屋外空地との一体的な利用を想定した空間づくり
- ・ 観光や物産、その他多種多様なイベント開催を想定した床仕上げ(荷重)と設備・備品の設置(電源、音響、照明、昇降ハトン、椅子等の配置)
- ・ イベント機材などの搬入動線や、スタッフの控え室や備品等の収納場所となるバックヤードの確保
- ・ 常時の情報発信や多様なイベント、議会中継等で活用できる大型映像装置等の情報発信機器の設置 など

◀ソフト面▶

- ・ 県産品のブランド化を促進するイベントや、市町の情報発信イベントの開催
- ・ 県民主体(参画)による定期的なイベント開催など、県民交流を促進するシステム導入の検討
- ・ 大型映像装置等で本会議中継を実施 など

空間イメージ



吹抜を活かし、低層階が一望できる開放感

来庁者が心地よく過ごせる待合・休憩スペース

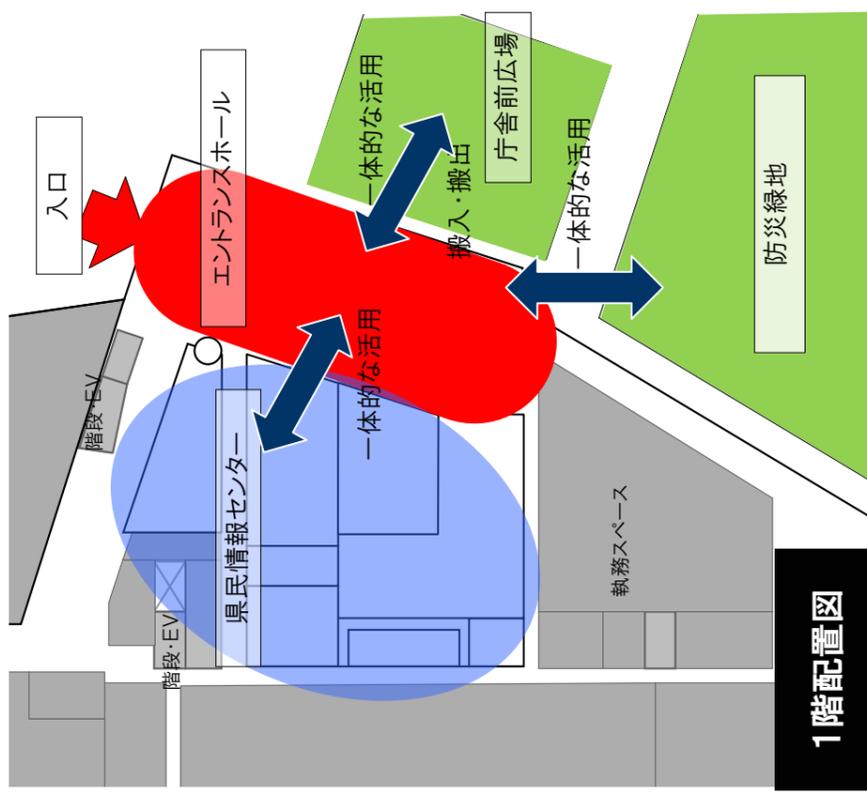
(事例)



大崎ゲートシティ(東京都品川区)

配置の考え方・他施設との繋がり

- ・ 入口に面し十分な面積を確保できるようにする
- ・ 県民情報センターや防災緑地等と一体的な活用が可能な配置
- ・ 搬入動線やバックヤード(倉庫等)が確保しやすい配置



1階配置図

運営・更新に関する基本的な方向性

運営方式

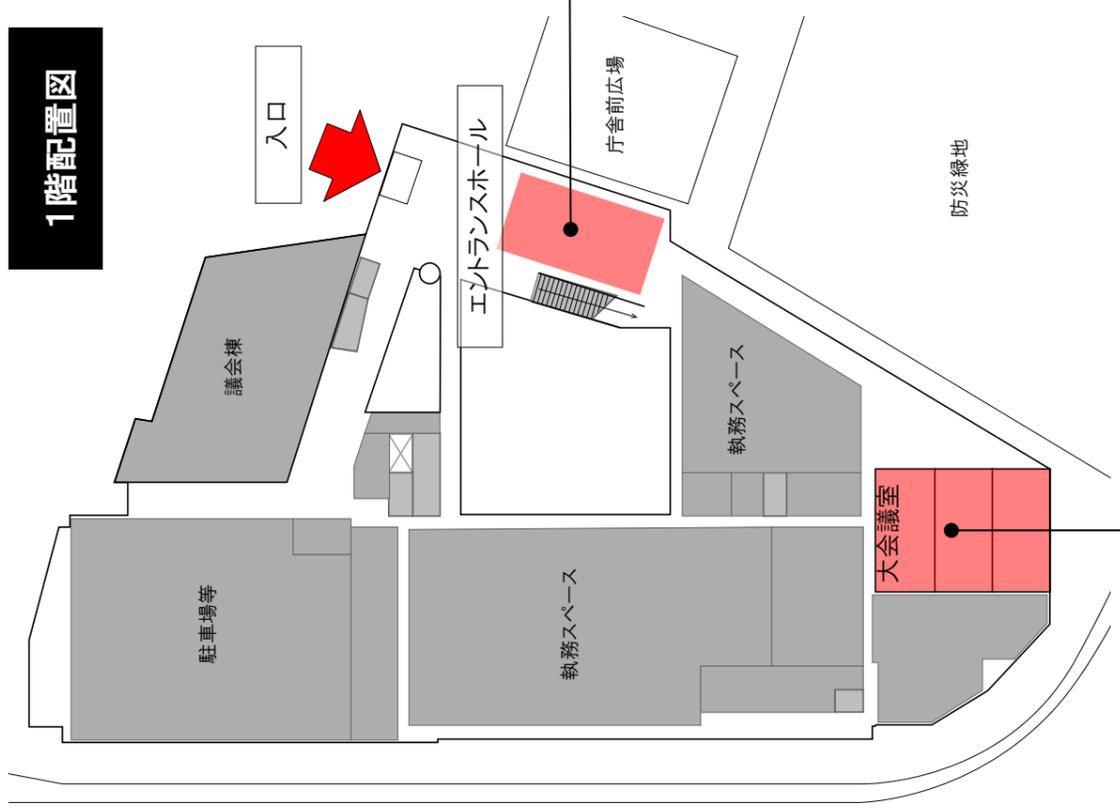
直営

- ・ 県主催の式典やイベントなどでの利用が想定されるため、直営が妥当である。
- ・ なお、多様な賑わい創出のためのイベント開催などの期待も高く、エントランスホールの活用としては、定期的なイベント企画・実践等を民間に委ねることも考えられる。



A-2. エントランスホール②

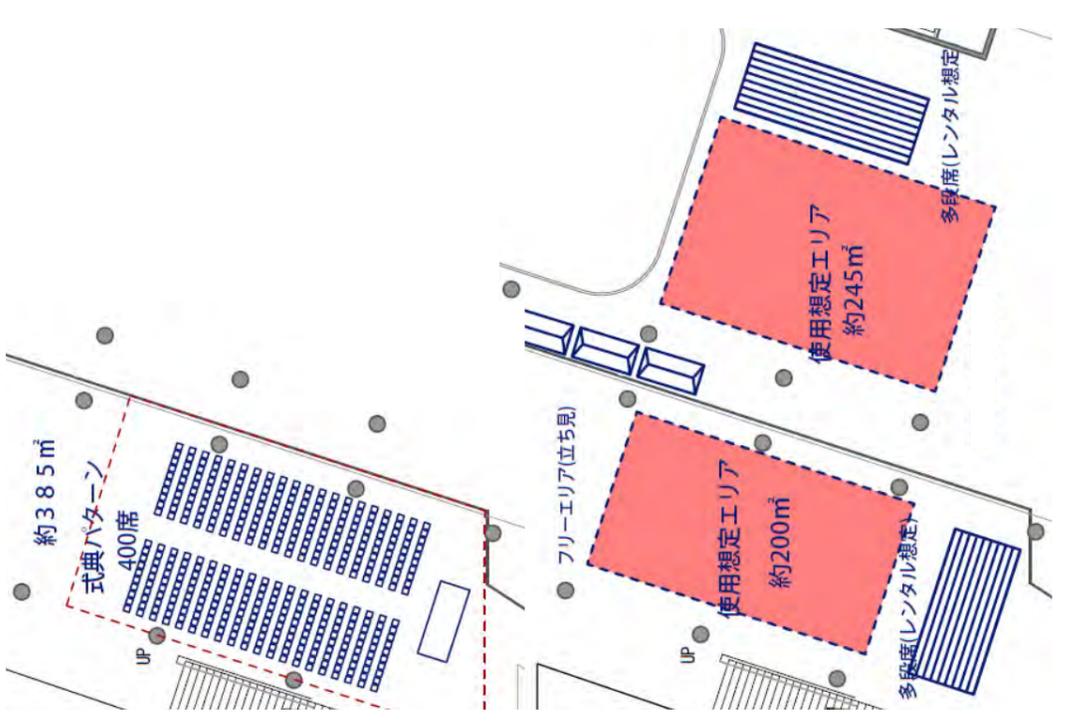
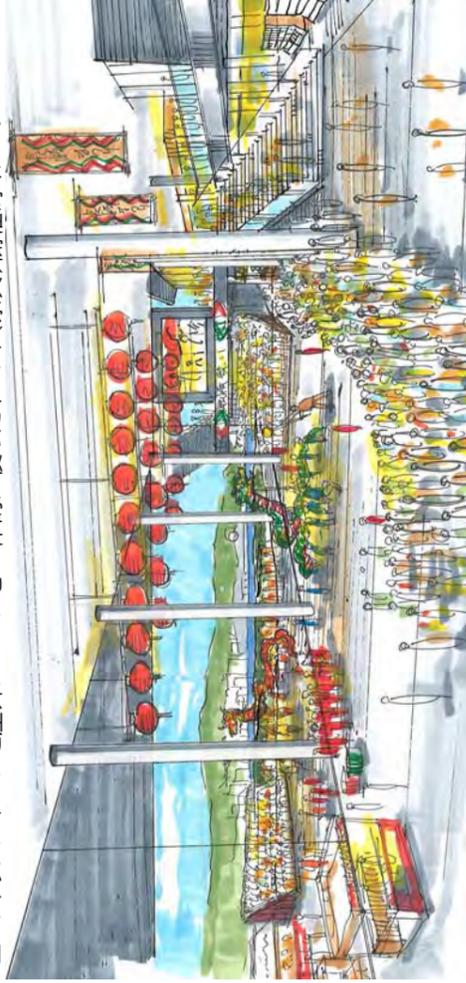
明るく、開放的で快適な多目的利用のできる空間



■ エントランスホールを使ったイベント(式典)開催時イメージ



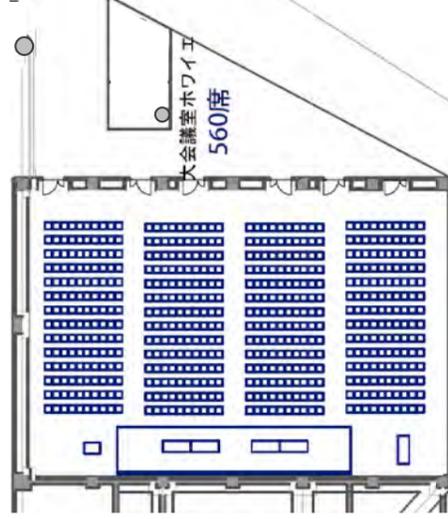
■ エントランスホールと屋外スペースを一体的に使ったイベント(祭典)開催時イメージ



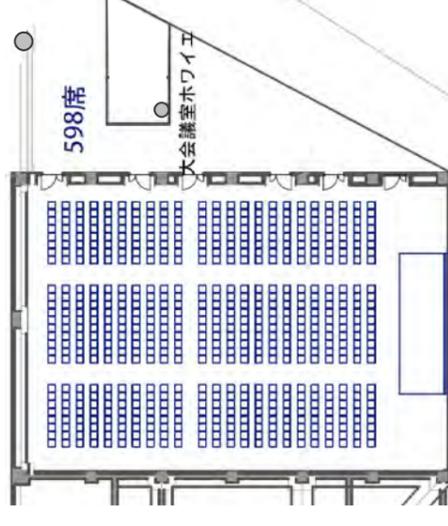
■ 参考：大会議室を使用した大規模フォーラム等の開催時イメージ



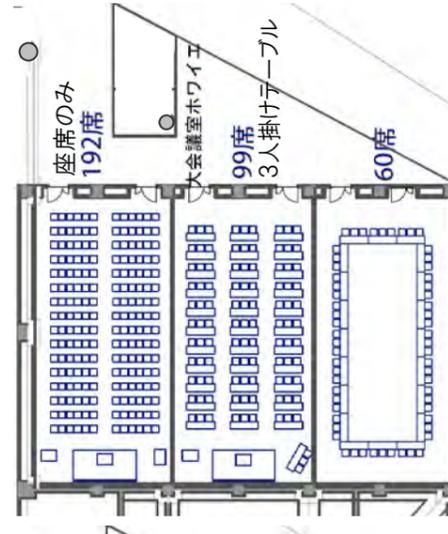
Aパターン：1スペースで使用し、上座を西側にした場合



Bパターン：1スペースで使用し、上座を南側にした場合



Cパターン：3スペースで使用した場合



※約450mm角のイス・前後の席間約450mmで想定

A-4. (仮称)協働フォーラム(県民協働会議室)

“つながる”をキーワードとした県民協働を推進するための新たな空間

現状・県民や職員等の意見

【現状】

- ・ 県民ボランティア活動支援センターはあるが、県とNPOが協働の活動をする場がない

【県民や職員等の意見】

- ・ ボランティアやNPOをバックアップできるような場所であってほしい(パブコメ)
- ・ 県職員と会う機会、話す機会が欲しい(グレイソン)
- ・ 政策決定の段階から民間ファシリテーターを導入し協働を進める仕組みも重要(県民協働課)
- ・ 協働推進のため、情報発信のプラットフォーム的な機能も重要(県民協働課)
- ・ NPO が情報発信を行う機能等は必要(県民協働課)
- ・ 市町とNPOの連携を支援することも重要(県民協働課)
- ・ 協働の取組として、協働推進セミナー、公開会議、県民大学講座を行いたい(職員WS)
- ・ (以下、NPO 団体・関係有識者(大学教員)等の意見)
- ・ 基本的には県の役割は「交わる」を支援すること。ツールとして情報発信、物販、セミナーなどがあると良い。
- ・ 情報を発信し情報が集まるメディアセンターが良い
- ・ NPO が自由に利用できる机がないオフィ的な空間が必要
- ・ 県内のキーマンのポトムアップ機能が必要
- ・ 月数回でも良いので職員による県政公開講座的なプログラム。県の主体的な情報発信の仕組みが必要
- ・ 県内のNPO がやりたいことが全部できるような機能が必要
- ・ ライブラリー、会議室、情報発信など周辺の機能と緩やかに連携している空間が良い
- ・ 活動団体を専門カテゴリーごとに分け、ひとつ目と解るような空間づくりがよいと思う

機能 (サービス内容)

- NPOや県民等の交流・ネットワークを育む空間
- NPO・県民等と職員との協働を促進する空間
- 県民協働に関する情報を発信する空間

付加価値を高める工夫(例)

《ハード面》

- ・ ライブラリーや各種情報発信、カフェと一体となった空間づくり
- ・ 多目的な利用が可能な空間づくり
- ・ 透明性がありオープンな雰囲気空間づくり
- ・ NPO 等の活動ができる空間づくり(個別・類似団体に共有できるような工夫)
- ・ 無線LANやプロジェクター、コピー機、電子黒板など、NPO 等の活動の拡がりを促進するために必要な設備の設置
- ・ 子ども連れでも利用できる空間づくり

《ソフト面》

- ・ 中間支援組織等による運営方式の導入検討
- ・ NPO 等の活動支援方策(各種相談、マッチング支援等)、人材育成プログラム等の導入検討
- ・ 県内の複数のNPO、大学、企業等が連携しながら運営に参画できる仕組みの導入検討
- ・ 県職員による県政セミナーなどの情報発信や職員と県民の交流促進を兼ねたプログラムの導入検討
- ・ 政策立案等に関するワークショップやグループインタビュー等の開催 など

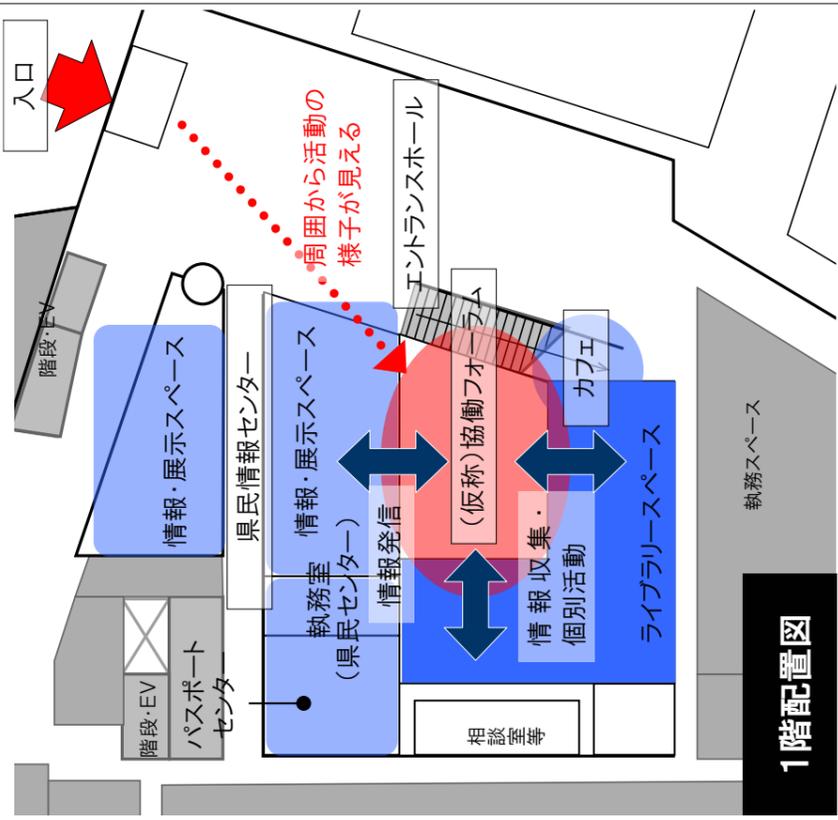
※機能及び付加価値を高める工夫については、今後、協働フォーラムとボランティア活動支援センターとの役割分担や、市町との役割分担を整理した上で検討を行い確定を図るものとする。

空間イメージ



配置の考え方・他施設との繋がり

- ・ ライブラリーや情報発信、カフェの間に壁等による隔たりのない配置
- ・ 入口やエントランスホールから活動の様子が見えるオープンで開放的な配置



1階配置図

運営・更新に関する基本的な方向性

運営方式	※今後検討 (直営、業務委託、指定管理者制度など)
施設や情報の更新に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時代のIT環境に即した効率的・効果的な情報提供(入手)システムの検討 ・ NPO等による情報発信においては、情報の責任所在及び情報の種類等について明確化

運営方法については、県民ボランティア活動支援センターとの役割分担の整理や県民協働に関して県が展開するソフト施策等を見極めつつ、総合案内、エントランスホール、県民情報センター、カフェの運営方式を踏まえ、今後検討を行うものとする。

◇市庁舎等の建設場所について

1 市庁舎について

(1) 市庁舎の規模

延床面積を 45,000～50,000 m²程度（駐車場除く）と想定します。

また、建物は1棟とすることを基本として検討を進めます。

延床面積については、支所等あり方の見直しなど庁舎規模に関連する検討と歩調を合わせ、適切な規模となるよう、基本計画策定や設計作業の中で精査を続けます。

(2) 市庁舎の建替え場所

公会堂及び公会堂前公園敷地とします。

(3) 建設事業費

建設規模を駐車場部分を含め 55,000 m²とした場合の事業費は、他都市の事例などから 200 億円程度と想定しています。

(4) 建設スケジュール

平成 25 年度に基本計画を策定し、平成 26 年度中に設計に着手、平成 28 年度中に着工、平成 31 年度中の完成を目指します。

2 公会堂について

(1) 新たな文化施設についての考え方

公会堂は解体し、新たな文化施設により市民の芸術文化活動の発表・鑑賞の拠点としての機能を確保します。

なお、規模については1,000席程度のものを想定しております。

(2) 新たな文化施設の場所

新たな文化施設については、現市庁舎跡地での整備を念頭に考えます。

(3) 新たな文化施設の供用時期

現市庁舎跡地に整備するとした場合は、現在の庁舎解体後に着工し、平成 34 年度中の完成を見込んでいます。

3 公会堂前公園について

現市庁舎跡地での確保を行うこととします。

《以下の記者発表資料から抜粋》
市庁舎等の建設場所について（平成25年1月25日）
総務局企画財政部、経済局文化観光部

市庁舎建替概要図

公園 (公会堂前公園の代替)
(現庁舎敷地での確保)

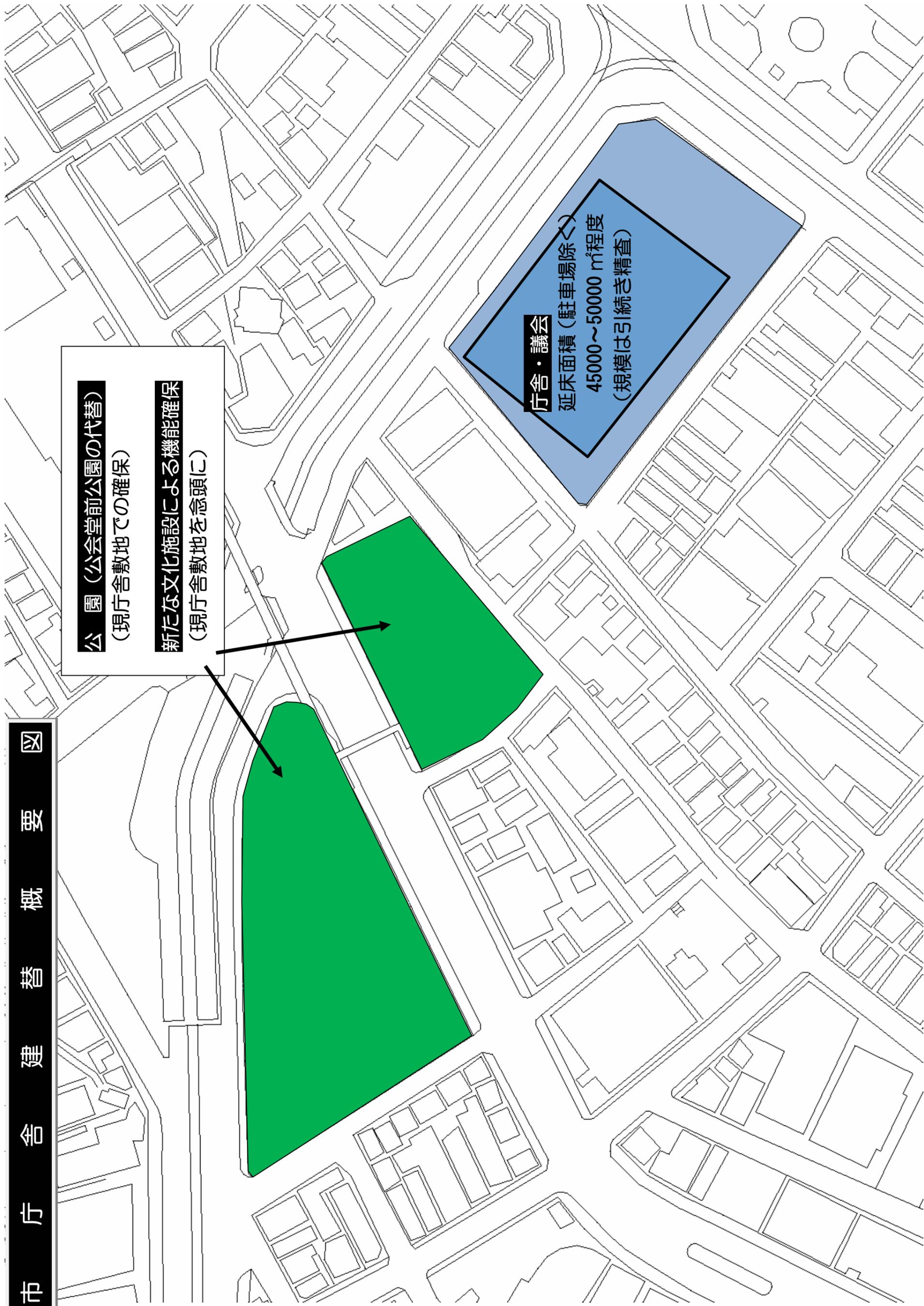
新たな文化施設による機能確保
(現庁舎敷地を念頭に)

庁舎・議会

延床面積 (駐車場除く)

45000~50000 m²程度

(規模は引き続き精査)



◆主要施設の概要一覧

用途・機能の区分	施設名称等	敷地面積	建築面積	延床面積	地上階数	収容人数	年間利用者数
【1-1】歴史系資料館	長崎歴史文化博物館	14,413 m ²	5,091 m ²	13,309 m ²	3 階	-	403,091 人
	原爆資料館	15,392 m ²	1,152 m ²	7,960 m ²	2 階	-	658,647 人
【2-1】奉行所復元	平戸オランダ商館	5,969 m ²	592 m ²	992 m ²	2 階	-	H24.9月～1月 68,388 人
	箱館奉行所	1142.09 m ²	1,033 m ²	979 m ²	1 階	-	237,126 人
	佐渡奉行所	18,542 m ²	1,542 m ²	1,542 m ²	1 階	-	17,264 人
	箱根関所	-	-	-	階	-	- 人
	水原代官所	5,915 m ²	569 m ²	498 m ²	1 階	-	3,202 人
	佐賀城本丸歴史館	35,000 m ²	2,223 m ²	2,500 m ²	2 階	-	174,963 人
	熊本城 本丸御殿復元	-	2,161 m ²	2,951 m ²	3 階	-	1,095,282 人
	山田奉行所記念館	1,112 m ²	333 m ²	332 m ²	1 階	-	4,694 人
	篠山城大書院	-	800 m ²	739 m ²	1 階	-	45,631 人
【3-1】観光・歴史文化情報拠点	長崎総合観光案内所	-	-	-	-	-	-
【4-1】伝統芸能資料館	長崎伝統芸能資料館(グラバー園内)	-	1,164 m ²	2,319 m ²	2 階	-	グラバー園 882,810 人
【4-2】体験型観光施設	いつきの宮歴史体験館	4402 m ²	1,300 m ²	976 m ²	1 階	-	30,859 人

◆主要施設の概要一覧

用途・機能の区分	施設名称等	敷地面積	建築面積	延床面積	地上階数	収容人数	年間利用者数
【4-3】世界遺産館	平泉文化遺産センター		- m ²	-	-	-	-
	石見銀山世界遺産センター	21,080 m ²	4,100 m ²	2,106 m ²	2 階	-	130,800 人
	知床世界遺産センター		758 m ²	-	-	-	-
	三重県立熊野古道センター	38,963 m ²	3,356 m ²	2,429 m ²	1 階	-	-
	屋久島世界遺産センター	2,239 m ²	480 m ²	694 m ²	2 階	-	4,864 人
【5-1】ランドマークタワー	タワーシティ長崎	-	95 m	-	28 階	-	-
	住友生命ビル	-	65 m	-	13 階	-	-
	現県庁舎の時計塔	-	約38 m	-	-	-	-
	現県庁舎の6階屋上	-	約23 m	-	6 階	-	-
【6-1】展望機能	稲佐山の来客数(参考)	-	333 m	-	-	-	36万 人
【7-3】イベントスペース	おくんち広場	約1700 m ²	-	-	-	-	-
	三角広場	約1900 m ²	-	-	-	-	-
	かもめ広場	840 m ²	-	-	-	-	-
【7-4】公園・広場	中央公園	3,142 m ²	-	-	-	-	-
	湊公園	2,117 m ²	-	-	-	-	-
	風頭公園	26,000 m ²	-	-	-	-	-
	鍋冠山公園	30,500 m ²	-	-	-	-	-
	西坂公園	7,064 m ²	-	-	-	-	-
	公会堂前公園	3,578 m ²	-	-	-	-	-

◆主要施設の概要一覧

用途・機能の区分	施設名称等	敷地面積	建築面積	延床面積	地上階数	収容人数	年間利用者数
【8-1】特産品・土産品店	県物産館 (交通会館2階)	-	-	フロア面積 270 m ²	6階	-	-人
【8-3】カフェ・レストラン	水辺の公園レストランの面積・客数	-	198 m ²	-	1階	室内 100席	26,000人
【10-1】バスセンター	新地ターミナル	-	約2,200 m ²	-	6階	-	-
	交通会館	2,273 m ²	1,642 m ²	占有2,388 m ²	6階	-	約150万人
	ココウォーク	16,166 m ²	-	-	8階	-	-
【10-2】駐車場	築町	700 m ²	-	-	-	236台	-
	賑町	660 m ²	-	-	-	228台	-
	思案橋	1,300 m ²	-	-	-	300台	-
【11-1】コンサートホール ※延床面積は収容人数記載のホール面積	長崎ブリックホール 大ホール	12,919 m ²	9,190 m ²	5,807 m ²	6階	2002席	177,620人
	長崎市民会館 文化ホール	5,048 m ²	4,282 m ²	764 m ²	7階	974席	186,453人
	長崎市公会堂	3,578 m ²	1,981 m ²	3,578 m ²	5階	1,747席	140,870人
【11-4】複合文化施設	長崎ブリックホール (席数は大ホール)	12,919 m ²	9,190 m ²	21,899 m ²	6階	2,002席	全体333,434人
	長崎市民会館 (席数は文化ホール)	5,048 m ²	4,282 m ²	25,415 m ²	7階	974席	全体569,254人
	長崎市公会堂	3,578 m ²	1,981 m ²	5,992 m ²	5階	1,747席	140,870人
【11-5】多目的ホール ※延床面積は収容人数欄に記載のホール面積	長崎市民会館 文化ホール	5,048 m ²	4,282 m ²	764 m ²	7階	974席	186,453
	長崎ブリックホール 大ホール	12,919 m ²	9,190 m ²	5,807 m ²	6階	2,002席	177,620人
	長崎ブリックホール 国際会議場	同上	同上	486	同上	542席	40,138

◆主要施設の概要一覧

用途・機能の区分	施設名称等	敷地面積	建築面積	延床面積	地上階数	収容人数	年間利用者数
【11-5】多目的ホール <small>※延床面積は収容人数欄に記載のホール面積</small>	長崎市公会堂	3,578 m ²	1,981 m ²	3,578 m ²	5階	1,747席	140,870人
	長崎市平和会館	1,159	1,159 m ²	625 m ²		716席	19,107人
	長崎新聞文化ホール・アストピア	-	-	561 m ²	-	700席	-
	長崎県総合福祉センター	-	-	513 m ²	5階	600席	-
	長崎市チトセピアホール	-	-	381 m ²	-	500席	全体40,321人
	長崎市南部市民センター	-	-	576 m ²	-	500席	-
	NCC&スタジオ	-	-	333 m ²	-	498席	-
	長崎県勤労福祉会館	975 m ²	-	327 m ²	4階	400席	4,420件
	NBC別館貸会場	-	-	374 m ²	-	306席	-
	メルカつきまち(市民生活プラザホール)	-	-	310 m ²	-	274席	全体80,877人
	新県庁舎の基本設計(大会議室)	-	-	-	8階	約600席	
【12-2】県民交流センター	新県庁舎の基本設計(県民交流機能) ＜除く金融機関、飲食スペース、総合案内＞	-	-	フロア面積 2440 m ²	8階	-	-
【14-1】大学・学校	NICEキャンパスサテライト会場 (出島交流会館)	-	-	フロア面積 約420 m ²	11階	-	登録生徒数 190人
その他	長崎市立図書館	5,887 m ²	3,650 m ²	11,659 m ²	4階	-	1,011,294人
	長崎県美術館	9914 m ²	5,209 m ²	10,092 m ²	3階	-	347,941人
	史跡出島	12,300 m ²	-	-	-	-	392,413人
	旧香港上海銀行記念館	550 m ²	365 m ²	1,093 m ²	3階	-	9,210人